

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

午前療育

公表:令和6年3月31日

事業所名 交野市立児童発達支援センター 保護者等数(児童数) 40 回収数 26 割合 65.0%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	85%	15%	0%	0%		
	2 職員の配置数や専門性は適切である	69%	19%	8%	4%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一時より人手不足感を感じます。先生方忙しいそうです。</li> <li>・STを設置してほしい。STの募集もされず、声をあげても全然実現してもらえない。発語のない児童はかなり少数だから後回しにされているのではないかと。一番の困りごとを解決してもらえていない。また、手厚く支援するなら指導員もあと数人は必要だと思う。</li> <li>・言語聴覚士さんがいたら嬉しいです</li> <li>・療育相談員について、連携した結果等の報告や療育や福祉サービスの必要な知識はもってもらいたい。園へ様子を見に行くのは、児童発達支援管理責任者等にしてもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の設置基準は満たしておりますが、引き続き、人材育成の確保・育成に努めます。</li> <li>・ST配置について、検討課題であると認識しております。安定した質の高い療育を提供できるよう、職員配置の検討を進めているところです。</li> <li>・療育相談については、職員間で相談に応じる上で必要な情報共有等を図ります。情報連携する(した)ことは、保護者・児発管等とも共有し、センターの療育にも活かしているところです。園へは必要に応じて、児童発達支援管理責任者も一緒に行き対応しています。</li> </ul>
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	81%	19%	0%	0%		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	85%	15%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少し狭いと感じる時がある</li> <li>・出来ればピアノの調律希望</li> <li>・トイレや手洗い場に温水が出るようになるとう嬉しです。冬は冷たすぎですぐ風邪ひいてしまいます。(皮膚が人の7倍弱い子どもなので)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアノの調律は、年に1回行っております。</li> <li>・トイレや手洗い場に温水がでるようにする改修については、今後の検討課題とさせていただきます。</li> </ul>
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	96%	4%	0%	0%		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	88%	8%	0%	4%		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	92%	8%	0%	0%		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	92%	4%	0%	4%		
	9 地域の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流する機会がある(所属している認定こども園等で経験している)	58%	4%	8%	31%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機会がありますが、こども園での行事や、その練習などで参加しにくい事もある</li> </ul>	
10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	85%	12%	0%	4%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明は機械的で丁寧とはいえないと思いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丁寧な対応を心掛け、不明な点がないか確認していききたいと思います。</li> </ul>	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
適切な 支援の 提供	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	92%	4%	0%	4%		
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニングiv等）が行われている	92%	4%	0%	4%	・子どもへの接し方、考え方、を知り、これから先の育児にも繋げられるスキルを教えてもらった。子だけでなく、保護者も育ててもらった	
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができている	96%	0%	0%	4%	・月のノートで日常生活についてのやり取り、就学支援など様々な面から支援していただいた	
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	88%	0%	0%	12%	・定期的に面談が開かれている	
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	46%	23%	19%	12%	・勉強会などで他の保護者同士の関わりが持てよかった ・アリス分離に乗れないと他の保護者の方と話す機会はそんなにないかもしれません。	
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	88%	4%	0%	8%	・困った事や悩み、進路など、その都度、時間を設けて抱き、面談や電話でも話を聞いて頂き助かった ・先生も忙しいと思うが、もっと相談する時間を確保してほしいと思うことがある。支援してもらっているが、人手が足りないのだと思う。	・人員基準は満たしているものの、年度途中で減員が生じ、タイムリーに相談に応じることができないこともあったかもわかりません。職員確保し、職員1人1人が、適切な相談に応じていけるよう、今後もスキルアップ等に努めていきます。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	96%	0%	0%	4%		
	18 定期的にセンターだより等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	88%	8%	0%	4%	・定年などで退職される方がいたら事前に知らせてほしいこともあった。長く在籍されお世話になった。先生が急にいなくなり、子ども親も寂しく思った。おれが良かった。	
	19 個人情報の取扱いに十分注意されている	88%	4%	0%	8%		
非常時等の 対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	85%	4%	0%	12%		
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	85%	0%	0%	15%		
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしている	92%	8%	0%	0%		
	23 事業所の支援に満足している	92%	8%	0%	0%		

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。